



た なか かず よし
田 中 千 福

けん とく らぶ
県都クラブ

上水道の老朽管更新事業について

問 日本各地で水道管路の老朽化により漏水が発生するなど、管路の更新は大変重要な時期にある。また、災害時における給水の確保も重大な問題である。津市においても、南海トラフ地震が危惧される中、老朽化した施設の更新と耐震化は喫緊の課題だと考える。水道管路の経年劣化、震災等に備えた耐震化の現状と、対策となる整備計画はどのようになっているのか。

答 津市の水道事業は古い歴史があり、経年劣化に伴う管路の更新が課題となっている。

また、東日本大震災を踏まえ、耐震化への対応も図らなければならないが、平成25年度末時点での状況としては、全管路の63%の耐震化が完了しているものの、浄水場から配水タンクへの送水管や配水管などの基幹管路のみでは14.2%と非常に低い数字となっている。

耐震化が遅れているのは国庫補助事業として採択されていなかったことが原因であったが、基幹管路の耐震化を進めるため、津市水道事業基本計画を見直した結果、国庫補助事業として採択されることとなった。平成29年度末には、基幹管路の耐震化率の全国平均である30%に達するよう重点的に取り組んでいく。

●その他の質疑・質問●

- 人・農地プランの現状と取り組み状況は
- 地籍調査事業の津市の現状、これまで進まなかった要因は。今後の推進に当たり、関係機関との連携強化を
- 廃校となる小学校の施設利用について
 - ・既に廃校となった施設利用の現状は。また施設利用の制約と支援策は など



▲市民に安全・安心な水を供給する津市水道局



すぎ たに いく お
杉 谷 育 生

しん わ かい
津 和 会

交通事故危険箇所の早期対策をすべきでは

問 市内で交通事故が多発しているが、同じ箇所、1週間に2件も事故が起きたところがある。市長は、財政調整基金を191億円積み立て、健全な財政であるとしているが、これは職員に「これほどの基金があるのだから交通安全対策に使いなさい」と言っているのだと思う。市民の生命と財産を守るために、補正予算として1億円計上しても安いものと考えるがいかがか。

答 信号機の設置、薄くなった横断歩道の引き直し、カーブミラーの設置などについては、道路法により設置者が定められており、交通安全対策費として予算化しても自由に設置できるものではない。

横断歩道・信号機の新設要望や、一時停止規制の停止線、「止まれ」の路面表示などは、公安委員会にお願いすることになる。また、道路の外側線や白線の中央線など、路面表示の新設および塗り替え、カーブミラーの設置については、国道は国土交通省の津国道維持出張所、県道は県の津建設事務所に対応をお願いすることになる。

市道については、津北工事事務所および津南工事事務所で適切に対応していきたい。

●その他の質疑・質問●

- 学校要望を1カ所に絞るな
- 今年の災害査定申請を受益者の身になって設計積算せよ
- 農林事業の国庫補助の受益者負担率を補助残とすること
- コミュニティバス運行の料金を100円とし、また、運行路線等利用しやすいサービス体系に
- 舗装・ライン等単価契約の利点を生かし早期履行執行を
- 室内相撲道場の整備を など



▲通学路の安全対策のため横断歩道の設置が必要な学校前